学校番号	309

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	日本文教出版　「新・見てわかる社会と情報」（社情 317）						
副教材等	P 検協会　新「情報」活用テキスト						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報について実習を中心として学習していく。実習課題成果物を受身ではなく能動的に作成することが望ましい。

2　学習の到達目標

(1)情報機器を適切に活用し，情報を収集，分析しながら問題を解決する力を身につける。
(2)情報機器を活用したコミュニケーションや情報発信において，他者への配慮や責任をもつ態度を育てる。
(3)情報化が社会に及ぼす影響や課題について理解し,情報社会に積極的に参画する態度を育てる。
(4)コンピュータや情報通信ネットワークのしくみを理解し，情報社会を支えるシステムに関心をもつ。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報化が社会に及ぼす影響や課題について関心をもち,情報社会の一員として主体的に参画していく態度を身につけている。	情報を活用しながら自分の考えや意見を表現するとともに,情報の受発信時には,情報モラル等の観点も含め,適切な判断ができる。	コミュニケーションや問題解決などの場面において，情報機器や情報通信ネットワークを効果的に活用する力を身につけている。	情報機器や情報通信ネットワークのしくみを理解するとともに，情報社会を生きるための基礎的な知識を習得している。
評価方法	・行動観察 ・実習課題成果物	・行動観察 ・実習課題成果物 ・ペーパーテスト	・行動観察 ・実習課題成果物	・行動観察 ・ペーパーテスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報リテラシー	・情報を活用する技法 ・文書作成の方法	○	○		○	a: 情報社会に関心を持ち，自らの情報活用能力を高めようとする態度を養う。 b: 情報を収集・取捨選択し、どのように情報を活用できるか考えることができる。 d:情報社会に参画していくための情報技術の理解を深めようとしている。	・行動観察 ・ワークシート
	情報技術のしくみとセキュリティ	・情報のディジタル化 ・ネットワークのしくみ ・情報セキュリティ技術		○	○	○	b: 情報技術の基本を学び、情報化社会がどのようなしくみで構成されているのかを理解している。 c:情報通信技術のしくみを理解し、情報社会に対応する技術を身につけている。 d:情報の保護する観点から、情報セキュリティの重要性を理解している。	・行動観察 ・実習課題成果物 ・ペーパーテスト
	情報モラル	・情報社会のモラルとマナー ・個人情報の保護 ・知的財産権の保護		○		○	b: 情報社会が人間に及ぼす影響と課題、モラルをしっかりと学び考えることができる。 d: 望ましい情報社会のあり方と情報技術を適切に活用することの必要性を理解している。	・行動観察 ・実習課題成果物 ・ペーパーテスト
2学期	問題解決	・問題解決の方法と技術 ・情報収集と信憑性	○	○	○		a: 自らの問題を発見し，さまざまな情報を分析して解決策を考え、実行することができる。 b: 問題の本質は何であるかを知り，問題を解決する手順と方法を理解している。 c:解決するための技術的な手法などを考え活用することができる。	・行動観察 ・実習課題成果物

	情報伝達と表現	・情報の表現 ・伝達の工夫 ・プレゼンテーションの方法 ・発表と評価の方法		○	○	○	b: 情報をうまく伝えるための伝達手段や表現方法などを、情報技術を利用し活用する方法を考えることができる。 c:プレゼンテーションのための表現や工夫を考え活用することができる。 d:プレゼンテーションを組み立てるうえでの情報技術の知識理解と活用ができる。	・行動観察 ・実習課題成果物 ・ワークシート
3学期	情報伝達と表現	・プレゼンテーションの相互評価	○	○		○	a:プレゼンテーションを見て聞き、感想をうまく表現できるか考えることができる。 b:発表者の表現の良い面や改善点、工夫などをうまく見出せるよう考え判断できる。 d:発表者の技術的な良い面、工夫、考えなどあることを理解している。	・行動観察 ・実習課題成果物 ・ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。